

Raise3D 純正プレミアム PLA フィラメント

SDS 番号 : S2C20170207B

セクション 1 : 製品および会社情報

1. 物質情報

Raise3D 純正プレミアム PLA フィラメント

2. 特定の用途

主に押出成形を基にした 3D 印刷工程に使用される

3. 製造者情報

製造者 :

JF Polymers (Suzhou) Co. Ltd.

住所 :

Haicheng Industrial Park

Building 7

Changshu Economic and Technological Zone (CEDZ) Changshu, Suzhou, Jiangsu Province,
215513

中国

電話番号/FAX 番号 :

+86-512-52096516 / +86-512-52096512

4. 緊急連絡先

緊急電話番号 :

+86-512-52096516 または地域の中毒管理センターに連絡すること

セクション 2 : 危険有害性の要約

1. 化学物質または混合物の分類

1.1. EEC 指令第 67/548 号および EC 指令第 1999/45 号の改訂版による分類
本物質は EEC 指令第 67/548 号の改訂版による分類基準を満たしていない。

1.2. 規則 (EC) No1272/2008 の改訂版による分類

本物質は規則 (EC) 1272/2008 の改訂版による分類基準を満たしていない。

2. ラベル要素

該当しない。

3. その他の有害性

固体の状態では刺激性はないと考えられる。加熱された物体または溶融物を取扱う際に火傷する危険がある。

セクション 3 : 組成、成分情報

1. 物質

化学名	CAS 番号	重量 (%)	曝露限界
ポリ (乳酸) 樹脂	9051-89-2	> 90%	なし

セクション 4 : 応急措置

1. 応急措置に関する記載**1.1. 吸入した場合**

新鮮な空気の場所に移す。刺激が続く場合、直ちに医師に連絡すること。

1.2. 皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で良く洗う。皮膚刺激が続く場合、医師に連絡すること。高温のポリマーに接触した場合はすぐに冷水で皮膚を冷やすこと。

1.3. 目に入った場合

直ちに多量の水で良く洗う。直ちに医師に連絡すること。

1.4. 飲み込んだ場合

予防措置として水を飲むこと。意識のない被災者には口から何も与えてはならない。医師の診断なしで無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。

2. 最も重要な急性と発症の遅い症状/影響

加熱された物質/溶融物に触れるまたは取扱うことにより生じる火傷

3. 緊急治療の適応および特別な治療の必要性

一般的な支持療法と症状に合わせた治療を行う。

セクション 5 : 火災時の措置

1. 適切な消火剤

泡。水。二酸化炭素 (CO₂)。ドライケミカル。使用可能であれば、耐アルコール性泡が望ましい。一般用途合成泡 (AFFF を含む) またはタンパク質含有泡は機能するがあまり効果的ではない。

2. 物質または混合物から生じる特殊な危険性

特有の危険有害性はない。

3. 消火者に対する助言

作業場で示される一般的な火災に対する注意事項に従うこと。火災時には、自給式呼吸器および完全装備の保護衣を着用すること。標準的な消火手順を用い、その他の関連物質の危険有害性を考慮すること。消防士は適切な保護具と、フルフェイス陽圧型の自給式呼吸装置 (SCBA) を着用すべきである。

セクション 6 : 漏出時の措置

1. 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

実験白衣。不浸透性手袋。サイドシールド付きの保護眼鏡。

2. 環境に対する注意事項

地表水または衛生的な下水道に流さないこと。物質で地下水系を汚染しないこと。

3. 封じ込めおよび浄化の方法および機材

シャベルですくい、廃棄に適した容器に移す。

セクション7：取扱いおよび保管上の注意

1. 安全取扱い注意事項

皮膚や眼に長時間接触しないようにする。粉塵の発生を防止すること。溶融物との接触の可能性から作業者を保護すること。通常の産業的または商業的取扱いにおいて危険性は低い。

2. 安全な保管条件

涼しく乾燥した換気の良い区域に保管する。熱、火花、炎から遠ざけること。容器は密閉すること。水濡れしないようにすること。乾燥ペレットや粒状物の容器間の移動または溶媒への帯電により、引火性物質のあるところでの火災や爆発を引き起こすに足る静電気が蓄積される可能性がある。生じる帯電を消失させることができる機器を使用すること。

セクション8：曝露防止および保護措置

1. 管理パラメーター

許容曝露限界については、現地当局に確認すること。

生物学的限界値：

成分の生物学的曝露限界値の設定なし

推奨される監視手順：

対象外

導出無毒性量 (DNEL)：

対象外

予測無影響濃度 (PNECs)：

対象外

2. 設備的対策

局所排気装置を使用して空気中の濃度を許容限界値未満に維持すること。換気が不十分な場合または作業手順において必要な場合は、適切な呼吸保護具を使用すること。設備的対策の手引きに関しては、ACGIHによる「Industrial Ventilation, a manual of Recommended Practice」の最新版などの出版物を参照のこと。

3. 保護具眼：

サイドシールド付きの保護眼鏡

皮膚：

実験白衣

呼吸器：

換気が不十分である場合は、適切な呼吸用保護具を着用する。

手：

リスクアセスメントにより必要性が示されている場合は、化学製品を扱うときは常に、認可された標準を満たす耐薬品性の不浸透性手袋を着用すべきである。

保護具：



セクション 9 : 物理的および化学的性質

1. 物理化学的性質の基本情報

性状 : 固体

色 : 様々

臭い : 殆ど無臭

臭いの閾値 : 対象外。

pH : 該当しない。

融点/凝固点 : 150°C

軟化温度 : 63°C

沸点 : 該当しない。

引火点 : 該当しない。

蒸発速度 : 該当しない。

燃焼性 : 対象外。

上限/下限、引火または爆発限界 : 対象外。

蒸気圧 : 該当しない。

蒸気密度 : 該当しない。

相対密度 : 1.25g/cm³

溶解性 : 対象外。

(n-オクタノール/水) 分配係数 : 対象外。

自然発火温度 : >350°C

分解温度 : 対象外。

粘度 : 該当しない。

セクション 10 : 安定性および反応性

1. 反応性

本製品は安定である。

2. 化学的安定性

通常条件では安定。

3. 危険有害反応可能性

燃焼により不快で有毒なヒュームが発生する。アルデヒド類。一酸化炭素 (CO)。二酸化炭素 (CO₂)。

4. 避けるべき条件

230°C (446°F) を超える高温。

5. 混触危険物質

未入手。

6. 危険有害な分解生成物

通常の産業的使用では考えにくい。製品が技術データシートに記載の推奨温度を過度に超えた温度に加熱されると熱分解が起こる可能性がある。燃焼生成物には炭素酸化物 (CO、CO₂)、窒素酸化物 (NO、NO₂ 等)、炭化水素、HCN が含まれることがある。

セクション 11：有害性情報

1. 可能性のある曝露経路

吸入：

呼吸器系に対しては非刺激性である。

皮膚接触：

LD50/経皮/ウサギ>2000mg/kg

眼への付着：

眼に入った場合擦過傷を引き起こすおそれがある。解けたポリマーは眼に重篤な損傷をもたらす。

経口摂取：

LD50/経口/ラット>5000mg/kg

2. 症状

粉塵は喉や呼吸器系を刺激し咳を引き起こすおそれがある。眼に直接接触すると一時的な刺激を起こすおそれがある。

3. 毒性作用に関する情報

急性毒性：粉塵は気道、皮膚、眼を刺激するおそれがある。

皮膚腐食性/刺激性：粉塵は皮膚を刺激するおそれがある。

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性：粉塵は眼を刺激するおそれがある。曝露すると流涙、発赤、不快感が生じるおそれがある。

呼吸器感作性：区分外。

皮膚感作性：皮膚感作性物質ではない。

生殖細胞変異原性：変異原性はないと考えられる。

発がん性：製品の成分は ACGIH または IARC では発がん性には分類されておらず、OSHA では発がん性物質として規制されておらず、NTP では発がん性物質として記載されていない。

生殖毒性：区分外。

特定標的臓器毒性単回曝露：データなし。

特定標的臓器毒性反復曝露：データなし。

吸引性呼吸器有害性：製品の物理的形態により、吸引性呼吸器有害性はない。

混合物対成分情報：該当しない。

その他の情報：曝露すると、皮膚炎、喘息、慢性肺疾患を含む既存の皮膚および呼吸器状態が悪化するおそれがある。

セクション 12：環境影響情報

1. 有害性

本製品は環境有害物質には分類されない。しかし、大量あるいは頻繁な漏出が環境に対し有害な悪影響をもたらす可能性が除害されているわけではない。

2. 残留性と分解性

データなし。

3. 生物蓄積性

生物蓄積性はない。本質的に生分解性である。

4. 土壌中の移動性

データなし。

5. 他の有害影響

本製品は環境有害物質には分類されない。しかし、大量あるいは頻繁な漏出が環境に対し有害な悪影響をもたらす可能性が除害されているわけではない。

セクション 13 : 廃棄上の注意

1. 廃棄物の処理方法

地域および国の規制に従うこと。化学物質や使用済み容器により池、水路、溝を汚染しないこと。必要に応じて製造業者に連絡する。

セクション 14 : 輸送上の注意

ADR : 危険物としては規制されていない。

RID : 危険物としては規制されていない。

AND : 危険物としては規制されていない。

IATA : 危険物としては規制されていない。

IMDG : 危険物としては規制されていない。

MARPOL73/78 付属書 II および IBC Code によるバラ積み輸送 :

本物質/混合物はバラ積み輸送を対象としたものではない。

セクション 15 : 適用法令

1. 化学物質または混合物に関する安全性、健康および環境規制/法律 (EU 規則)

オゾン層を破壊する物質に関する規則 (EC) No.1005/2009、付属書 I

記載なし

オゾン層を破壊する物質に関する規則 (EC) No.1005/2009、付属書 II

記載なし

残留性有機汚染物質に関する規則 (EC) No.850/2004、付属書 I 改訂版

記載なし

危険物質の輸出入に関する規則 (EC) No. 689/2008、付属書 I、パート 1 改訂版

記載なし

危険物質の輸出入に関する規則 (EC) No. 689/2008、付属書 I、パート 2 改訂版

記載なし

危険物質の輸出入に関する規則 (EC) No. 689/2008、付属書 I、パート 3 改訂版

記載なし

危険物質の輸出入に関する規則 (EC) No. 689/2008、付属書 V 改訂版

記載なし

規則 (EC) No.166/2006 付属書 II 「環境汚染物質排出移動登録」

記載なし

規則 (EC) No.1907/2006、REACH59 (10) 条 ECHA により現在出版されている候補物質リスト

記載なし

認可

規則 (EC) No.1907/2006、REACH 附属書 XIV 「認可対象物質」改訂版

記載なし

使用上の制限

規則 (EC) No.1907/2006、REACH 附属書 XVII 「市販および使用に関する制限対象物質」改訂版

記載なし

職場における、発がん性物質および変異原性物質への曝露に関連した危険に対する作業者の保護に関する EC 指令 2004/37 :

記載なし

妊娠している作業者および最近出産したまたは授乳期間中の作業者の安全面および健康面に関する EEC 指令 92/85 :

記載なし

その他の EU 規則 :

危険物質に関わる主な事故危険性の管理に関する EC 指令 96/82 (セブソ II) :

記載なし

職場における、化学薬品に関する危険に対する健康・安全面での作業者の保護に関する EC 指令 98/24 :

記載なし

職場における若年者の保護に関する EC 指令 94/33 :

記載なし

その他の規則

本安全データシートは規則 (EC) No1907/2006 の要求事項に適合する。

国内法 :

対象外

2. 化学物質安全性評価

化学物質安全性評価は未実施。

セクション 16 : その他の情報

改訂情報

改訂日 : 2017年3月17日

読者への宣言

製品は取り扱いおよび使用中に静電気放電を起こす可能性がある。引火性物質がある場合、火災や爆発が起こるおそれがある。溶融物は熱による眼の熱傷を引き起こすおそれがある。溶融物は熱による皮膚の火傷を引き起こすおそれがある。蒸気を処理する際に気道刺激が生じるおそれがある。